



節水へのご協力ありがとうございました ～生駒市渇水対策本部を解散します～

生駒市は、令和8年3月6日に奈良県渇水対策本部長及び奈良県広域水道企業団渇水対策本部長からの渇水に伴う節水の協力要請を受け、3月11日に「生駒市渇水対策本部」を設置し、市役所をはじめとする公共施設での節水対策や市民及び事業者への協力の呼掛けを行ってきました。

この度、大滝ダム等の主要水源の貯水率回復等に伴い、令和8年5月29日付けで奈良県広域水道企業団による渇水対策本部会議の廃止及び給水制限の解除が行われたことを踏まえ、同日付けで「生駒市渇水対策本部」を解散します。

市民生活や事業活動に大きな影響を及ぼすことなく、渇水状況を改善することができ、これまで節水にご協力いただきました市民及び事業者の皆様には、深く感謝申し上げます。

また、環境負荷低減及び水資源の有効活用の観点から、引き続き節水にご配慮いただきますようお願いいたします。

■ 節水対策の取組結果

市民・事業者の皆様には節水のご協力をいただき、また公共施設においても、消防署や消防団の放水訓練等の頻度や内容の見直し、植栽の散水頻度の見直し等を行った結果、生駒市域の水道使用量は、前年同月比で、令和8年3月は7.2%、4月は2.5%削減されました。

(参考)

(1) 大滝ダムの貯水状況（詳細は国土交通省 HP「[川の防災情報](#)」を参照）

県内の主要水源のうち最も貯水率が少ない「大滝ダム」の5月19日13:00時点の貯水率は27.9%（※3月31日13:00時点は7.6%）

(2) 今後の天候予測（詳細は気象庁 HP「[奈良県の季節予報](#)」を参照）

- ・近畿地方太平洋側の向こう3カ月の降水量は、ほぼ平年並の見込み
- ・近畿地方太平洋側の向こう1カ月の降水量は、多い見込み

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市地域活力創生部脱炭素まちづくり推進課（課長 木口） ☎0743-74-1111(内線 2850)